

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
246	三河湾（伊川津、汐川干潟、神野新田、矢作古川河口、一色干潟、矢作川河口、佐奈川河口など）	愛知県	豊橋市、渥美郡田原町・渥美町、幡豆郡一色町、蒲郡市、知多郡武豊町	休耕田、前浜干潟、河口干潟のある河口域、潟湖、藻場	海草	三河湾	一色干潟、神野新田沖などに広大なアマモ場（アマモ、コアマモ）。
					シギ・チドリ類	神野新田	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、ケリでは最小推定個体数の1%以上が記録されている。RDB種のセイタカシギ、ホウロクシギ、オオジシギ、ツバメチドリが記録されている。
					シギ・チドリ類	汐川干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、ケリ、ダイゼン、ハマシギでは最小推定個体数の1%以上、ミヤコドリ、メダイチドリ、チュウシャクシギ、ツルシギ、キョウジョシギ、キアシシギ、トウネンでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のコシャクシギ、セイタカシギ、ホウロクシギ、アカアシシギ、オオジシギが記録されている。
					シギ・チドリ類	伊川津（福江干潟）	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、ケリ、メダイチドリ、キアシシギ、キョウジョシギ、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギ、アカアシシギ、ツバメチドリが記録されている。なお、新堀川河口にはシバナ、ハマツナ、フクド、ハマサジなど塩性湿地固有の植物群落が見られる。
					シギ・チドリ類	矢作古川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、ケリでは最小推定個体数の1%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギ、ツバメチドリが記録されている。
					シギ・チドリ類	矢作川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、ケリ、ハマシギでは最小推定個体数の1%以上、メダイチドリ、チュウシャクシギ、ツルシギ、キョウジョシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギ、ツバメチドリが記録されている。
					底生動物	汐川干潟	豊富なベントス相。オオノガイ、ヤミヨキセワタ、イボウミニナ、ヒロクチカノコ、ヒナユキスズメ、キヌカツギハマシイノミ、オカミミガイ、ワカウラツボ、ウモレベンケイガニといった希少種を多産する。
					底生動物	矢作川河口	広大な塩性湿地を有し、塩性湿地固有の豊富な巻貝類が生息する。
					底生動物	佐奈川河口	オカミミガイ類、カワザンショウ類、ウミニナ類など塩性湿地固有の腹足類（巻貝）が多数生息する。
底生動物	三河湾	有明海に次ぐアサリの生息地。					
247	ツクデ 作手中間湿原群（長ノ山湿原など）	愛知県	南設楽郡作手村	中間湿原	湿原植生	作手中間湿原群（長ノ山湿原など）	愛知では数少ない泥炭の堆積が見られる湿地。
					昆虫類	作手中間湿原群	長ノ山湿原と称されている。ヒメヒカゲ、グンバイトンボ（激減）、オジロサナエ、ハッチョウトンボ、オオヒカゲ、ヒメシジミ、ゴマシジミなどの生息地。
248	豊田市周辺中間湿原群（北山湿地、矢並湿地、伊保湿地など）	愛知県	豊田市、岡崎市	中間湿原	湿原植生	豊田市周辺中間湿原群（北山湿地、矢並湿地、伊保湿地など）	ヌマガヤ群落など。
					昆虫類	愛環鉄道北側（伊保湿原など）	ヒメヒカゲ、ウラナミジャノメの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
249	伊勢湾（藤前干潟、常滑沖、鈴鹿川・雲出川・櫛田川・菟川・愛宕川・金剛川の各河口）	愛知県、三重県	愛知県名古屋市、常滑市、三重県四日市市、津市、一志郡香良洲町、松阪市、多気郡明和町	河口干潟のある河口域、塩性湿地、藻場	海草	常滑沖	アマモ場。
					シギ・チドリ類	藤前干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、ダイゼン、ハマシギでは最小推定個体数の1%以上、ケリ、シロチドリ、メダイチドリ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ツルシギ、アオアシシギ、ソリハシシギ、キアシシギ、キョウジョシギ、トウネンでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギ、アカアシシギが記録されている。
					シギ・チドリ類	鈴鹿川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、ミユビシギでは最小推定個体数の1%以上、シロチドリでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。
					シギ・チドリ類	雲出川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、キアシシギ、ハマシギでは最小推定個体数の1%以上、ミヤコドリでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギ、オオジシギが記録されている。
					シギ・チドリ類	愛宕川河口～櫛田川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、キアシシギ、チュウシャクシギでは最小推定個体数の1%以上、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギ、アカアシシギが記録されている。
					底生動物	藤前干潟	アナジャコやエドガワミズゴマツボの生息地。
底生動物	雲出川河口、櫛田川河口、愛宕川河口、金剛川河口、菟川河口	塩性湿地が豊富で、地形的にも多様。塩性湿地固有の豊富な巻貝類（オカミミガイ、ウスコミミガイ、クリイロコミミガイ、ヒロクチカノコなど）。					
250	菟川	三重県	松阪市、多気郡明和町・多気町	河川	淡水魚類	菟川	在来タナゴ類ほか淡水性の在来魚種の多様性が高い。
					淡水貝類	菟川	種の多様性が高い。イシガイ類の生息地。
251	志摩半島南部沿岸（大王町～南島）	三重県	志摩郡大王町・志摩町、度会郡南勢町	藻場	海草、海藻	志摩半島南部沿岸（大王町～南島）	（大王崎）サガラメ、カジメ、オオバノコギリモク（南限；1995年ころ宮崎県川南町で絶滅のため）など・海中林。（多曾浦）ナガシマモク（志摩半島特産）、ヘラナラサモ（下田と多曾浦にのみ生育）・海中林。（大島）ネジモク（紀伊半島東岸のみに生育、最も大きな群落と思われる）、マクサ。（五カ所湾奥部）1年生アマモ（他の生育地に比べて小型）、ツルモ（太平洋沿岸で群落が形成されるのは珍しい）。
252	彦根～米原地域の湧水群	滋賀県	彦根市、坂田郡米原町	湧水地	淡水魚類	彦根～米原地域の湧水群	ハリヨ、スナヤツメの生息地。
253	木之本町の農業用水系	滋賀県	伊香郡木之本町	水路	淡水貝類	木之本町の農業用水系	種の多様性が高い。イシガイ類の生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
254	ヤマカド山門湿原	滋賀県	伊香郡西浅井町	中間湿原	湿原植生	山門湿原	ミツガシワ群落、ヌマガヤ群落。
					昆虫類	山門湿原	寒冷地方に分布する生物が多く残存し、昆虫でも寒地性の種が多く確認されている。トンボ類では確認された35種が記録され、そのうち、モートンイトトンボ、コサナエ、ヒメクロサナエ、ルリボシヤンマ、マルタンヤンマ、ハッチョウトンボなど注目すべき種が多い。また、湿地・湿原に限って生息するオオイトトンボ、ハッチョウトンボ、サラサヤンマなども多い。また、コオイムシも確認されている。
255	アイバノ饗庭野湿原	滋賀県	高島郡今津町	中間湿原、低層湿原	湿原植生	饗庭野湿原	タヌキモ群落、ヨシ群落、動植物の貴重種。
256	琵琶湖（内湖を含む） ラムサール条約登録湿地(琵琶湖)	滋賀県	大津市、草津市、守山市、近江八幡市、彦根市、長浜市、野洲郡中主町、神崎郡能登川町、坂田郡米原町・近江町、東浅井郡びわ町・湖北町、伊香郡高月町、高島郡マキノ町・今津町・新旭町・安曇川町・木之本町・西浅井町、高島郡高島町、滋賀郡志賀町	湖沼、中間湿原、湧水湿地	湿原植生	琵琶湖（内湖を含む）	ヨシ群落、ツルヨシ群落、フトイ群落、アサザ群落、アカメヤナギ林。
					水草	琵琶湖北湖北部・浜分沼	（琵琶湖北湖北部）琵琶湖固有種サンネンモはじめ良好な沈水植物群落が発達。（浜分沼）内湖に豊かな植生が残る。
					淡水藻類	琵琶湖	絶滅危惧 類のヒメフラスコモが生育。
					ガン・カモ類	琵琶湖西池湖沼群（琵琶湖、西池）	ヒシクイ（亜種オオヒシクイ）、オカヨシガモ、ヒドリガモ、ホシハジロ、キンクロハジロの渡来地。
					淡水魚類	琵琶湖	ヒワマス、アブラヒガイ、ビワコオオナマス、イワトコナマス、イササ、ゲンゴロウブナ、ニゴロブナ、イチモンジタナゴ(減少が著しい) など固有種の生息地。
					昆虫類	琵琶湖	カワムラナベブタムシ(絶滅危惧 類)の生息地。
					淡水貝類	琵琶湖・淀川水系	多数の固有種が生息。
底生動物	琵琶湖（淡水ベントス）	淡水底生動物の固有種が極めて多い。					
257	淀川水系（淀川、宇治川、木津川など）	滋賀県、京都府、大阪府	滋賀県大津市、京都府宇治市、綴喜郡宇治田原町、京都市、城陽市、久世郡久御山町、八幡市、乙訓郡大山崎町、大阪府枚方市、高槻市、三島郡島本町、寝屋川市、茨木市、摂津市、守口市、大阪市	河川	淡水魚類	淀川水系	イタセンバラ、アユモドキ、ビワコオオナマズの生息地。
					淡水貝類	琵琶湖・淀川水系	多数の固有種が生息。
					淡水貝類	宇治川	ナカセコカワニナ（絶滅危惧 類）の生息地。
					淡水貝類	木津川	イシガイ類の生息地。
					淡水貝類	淀川のワンド群	種の多様性が高い、オグラヌマガイ（絶滅危惧 類）の生息地。特に城北ワンド群。
258	河内風穴	滋賀県	犬上郡多賀町	地下水系	淡水貝類	河内風穴	コバヤシミジンツボ（模式および唯一の産地）の生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
259	丹後半島沿岸～若狭湾（西部）	京都府	熊野郡久美浜町、竹野郡網野町・円後町、与謝郡伊根町・岩滝町、宮津市、舞鶴市	藻場	海藻	丹後半島沿岸～若狭湾（西部）	若狭湾は、富山湾と並び日本海側の大きな湾であるが、富山湾と違って浅く、広大な藻場が発達しており(2000ha)、日本海側における天然アラムの北限でもある。
260	八丁平湿原	京都府	京都市	高層湿原	湿原植生	八丁平湿原	イヌツゲ群落。カキツバタ、オオミズゴケなど。氷期堆積層を含む20mの堆積物をもつ。
					昆虫類	八丁平	ハッコウトンボ、ヒラサナエ、ダビドサナエ、ヒメサナエ、ムカシトンボ、ウラクロシジミ、フジミドリシジミ、アカエゾゼミなどの生息地。
261	ミノロカイク 深泥池湿地	京都府	京都市	高層湿原、低層湿原	湿原植生	深泥池湿地	ミツガシワ群落、カキツバタ群落。ヤチスギランなど。
262	由良川源流域（ <sup>アシュウ</sup> 芦生・知井・安掛）	京都府	北桑田郡美山町	河川	淡水魚類	由良川源流域（芦生・知井・安掛）	ヤマメ、アジメドジョウ、アカザ、カジカ、オヤニラミなど渓流性の在来魚種の多様性が高い。
263	大フケ湿原およびその周辺湿地	京都府	宮津市	高層湿原	昆虫類	大フケ湿原およびその周辺湿地	ブナ林に囲まれミズゴケで覆われた高層湿原で、ハッコウトンボ、オオコオイムシ、ミスメイガの1種など貴重な昆虫が生息する。また、周辺の樹林には（この地方では少ない）エゾゼミが広範囲に生息する。
264	丹後・但馬地方低山地湧水域のアベサンショウウオ生息地	京都府、兵庫県	京都府中郡大宮町・峰山町、竹野郡網野町・弥栄町、与謝郡野田川町、兵庫県城崎郡日高町、豊岡市	湧水地	爬虫両生類	丹後・但馬地方低山地湧水域のアベサンショウウオ生息地	アベサンショウウオ(日本固有種)の生息地。
265	大阪湾南部(紀淡海峡)	大阪府	泉南郡岬町	藻場	海藻	大阪湾南部(紀淡海峡)	ワカメ・テングサ場。ガラモ、アラム・カジメ場などと混在し、地先の生物多様性が高い。
266	大阪南港野鳥園	大阪府	大阪市	人工の干潟・塩性湿地	シギ・チドリ類	大阪南港野鳥園	春秋の渡期の種数・個体数が比較的多く、シロチドリでは最小推定個体数の1%以上、ハマシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のセイタカシギが記録されている。
267	<sup>オノザト</sup> 男里川河口	大阪府	阪南市	河口干潟、塩性湿地	底生動物	男里川河口	規模は小さいが、塩性植物が豊富で底生動物も大阪湾ではここでしか見られない種が数多く生息。
268	<sup>イコマ</sup> 生駒・ <sup>シギ</sup> 信貴山麓のため池群	大阪府	八尾市、東大阪市	ため池	淡水魚類	生駒・信貴山麓のため池群	ニッポンバラタナゴの生息地。
269	浜甲子園	兵庫県	西宮市	干潟	シギ・チドリ類	浜甲子園	春秋の渡期の種数・個体数が比較的多く、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。
270	淡路島中南部の農業用水系	兵庫県	三原郡三原町・緑町、洲本市	水路	淡水貝類	淡路島中南部の農業用水系	ヒメマルマメタニシ（絶滅危惧類）の生息地。
271	洲本地先沿岸	兵庫県	神戸市、津名郡淡路町	藻場	海藻	洲本地先沿岸	カジメ、テングサの生育地。
272	家島周辺沿岸	兵庫県	飾磨郡家島町	藻場	海藻	家島周辺沿岸	藻場または海藻群落の主体、ワカメ生育地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
273	砥峰高原湿地	兵庫県	宍粟郡大河内町	その他の湿地	昆虫類	砥峰高原	チュウゴクオオミズクサハムシ、ハッチョウトンボ、ヒラサナエなどの生息地。
274	氷上地方水系（加古川・由良川分水嶺）	兵庫県	氷上郡氷上町・春日町	河川	淡水魚類	氷上地方水系（加古川、由良川分水嶺）	河川争奪によりホトケドジョウ（西限生息地）、アブラハヤを始め淡水魚の多様性が高い。
275	六甲山北面沢地群	兵庫県	神戸市	溪流	淡水魚類	六甲山北面沢地群	ナガレホトケドジョウの生息地。
276	岸田川支流の最上流域	兵庫県	美方郡温泉町	河川	淡水貝類	岸田川支流の最上流域	ニクイロシブキツボ（準絶滅危惧）の南限。
277	東播磨北部地域の農業用水系	兵庫県	加西市、神崎郡福崎町、小野市、加古川市	ため池、水路	水草	加西市ため池群	昔ながらのため池を中心に良好な水生植物群落が成立。スプタ、マルミスプタ、マルバオモダカ等の絶滅危惧種も多産。
					淡水貝類	播磨地域の農業用水系	カワネジガイ（絶滅危惧類）、イナバマメタニシ・ヒメマルマメタニシ（絶滅危惧類）の生息地。
278	明石市大久保町周辺のため池群	兵庫県	明石市	ため池	水草	明石市大久保町周辺のため池群	周囲の都市化が進んでいるが、全国最大のオニバス自生地（西島大池）他がある。
279	加古川河口	兵庫県	高砂市	河口干潟	底生動物	加古川河口	ヨシ原がよく保存されており、京阪神の大都市近郊にありながら、ハクセンシオマネキ、ウモレベンケイガニ、アリアケモドキといった希少カニ類、カワアイ、ヘナタリ、ワカウラツボ、ヒロクチカノコといった希少巻貝類が生息する。
280	新舞子海岸	兵庫県	揖保郡御津町	前浜干潟	底生動物	新舞子海岸	全国的に少なくなった二枚貝のマテガイ、カニ類のウモレマメガニを多産する。
281	チクサ千種川河口	兵庫県	赤穂市	河口干潟、塩性湿地	底生動物	千種川河口	ヨシ原がよく残っており、マテガイ、マゴコロガイといった希少二枚貝やハクセンシオマネキ、ウモレベンケイガニ、ヒモイカリナマコも普通に産する。
282	円山川河辺	兵庫県	城崎郡城崎町、豊岡市	中間湿原、低層湿原	湿原植生	円山川河辺	ヨシ群落。昆虫類、植物の貴重種の生息・生育地。
283	お亀池	奈良県	宇陀郡曽爾村	低層湿原	湿原植生	お亀池	ヨシ群落。サウヒヨドリ、チダケサシなど。
284	紀伊半島のキリクチ生息地	奈良県		河川	淡水魚類	紀伊半島のキリクチ生息地	紀伊半島産イワナ(キリクチ)の生息地。東アジアにおけるイワナ属の南限地。
285	紀の川河口、和歌川河口	和歌山県	和歌山市	河口干潟	底生動物	紀の川河口、和歌川河口	豊富なベントス相、特にシオマネキ、ハクセンシオマネキ、オサガニの生息数は近畿最大。ムギワラムシ、ワカウラツボなどの希少種も数多い。
286	有田川河口	和歌山県	有田市	河口干潟	底生動物	有田川河口	泥、転石、塩性湿地など多様な干潟環境を持ち、極めて貴重とされるコゲツノブエが多産する。
287	ヌノイケ沼池	和歌山県	有田郡金屋町	湖沼	水草	沼池	イトタヌキモの生育地。
					昆虫類	沼池	ハッチョウトンボ、ヨツボシトンボ、ミズカマキリ、オオコオイムシ、ヒョウモンチョウなどの生息地。
288	日高川河口	和歌山県	御坊市	河口干潟のある河口域	底生動物	日高川河口	広大な塩性湿地とハマボウ群落。ウモレベンケイガニ、シオマネキ、トゲアシヒライソガニモドキ、カワアイガイなどの希少種を産する。
289	田辺市～日高郡ため池群	和歌山県	田辺市・日高郡印南町ほか	ため池	水草	田辺市～日高郡ため池群	ミスミイ、ヒメシロアサザほか希少種が数多く生育するため池群。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
290	白浜～田辺湾	和歌山県	田辺市、西牟婁郡白浜町	藻場、浅海域、サンゴ礁	海藻	白浜～田辺湾	ガラモ、クロメ。種の多様性が高い。
					サンゴ	白浜鉛山湾、瀬戸	種の多様性が高い。
					底生動物	田辺湾	シオヤガイが多く、潮間帯では稀なワダツミギボシムシが生息する。
291	古座町田原地区の水田・湿地	和歌山県	東牟婁郡古座町	水田	水草	古座町田原地区の水田・湿地	水田（湿田）と池にミズネコノオ、ヤナギスプタ、テツホシダなど希少な植物が数多く生育する。
292	串本錆浦、潮岬西岸	和歌山県	西牟婁郡串本町	サンゴ礁	サンゴ	串本錆浦、潮岬西岸	種の多様性が高く、かつ被度がすこぶる高く、多くのサンゴ礁性動物に生息環境を提供している。オオナガラヘナサンゴの密集個体群は世界で当域でのみ知られる。なお、サンゴ礁には多様性の高い底生動物が生息し、その中には、当域が分布の北限となる種が多く含まれる。
293	和歌山千里の浜	和歌山県	日高町南部町	砂浜、浅海域	ウミガメ	和歌山千里の浜	アカウミガメの主要な産卵地である。
294	新宮蘭沢浮島の森	和歌山県	新宮市	中間湿原、低層湿原、湿地林	湿原植生	新宮蘭沢浮島の森	浮島の森は暖地性植物と共に、ミズゴケを含む、より冷温の地方の植物が同時に見られることが一つの特徴である。また、市街地にあつてきわめてよく保存され、植物の生育も良好であることから今後の都市と湿原の共存を考える上で一つのモデルとなりうるものと考えられる。国の天然記念物。
295	岩美地先沿岸	鳥取県	岩美郡岩美町	藻場	海藻	岩美地先沿岸	日本海中南部を代表するガラモ場で、クロモズクなど、日本海中北部では見つかっていない種類も知られている。
296	唐川湿原	鳥取県	岩美郡岩美町	中間湿原	湿原植生	唐川湿原	カキツバタ群落（国の天然記念物）。中間湿原がある。
297	菅野湿原	鳥取県	岩美郡国府町	中間湿原	湿原植生	菅野湿原	ミズゴケ湿原として県の天然記念物に指定。
298	タネ多鯨ヶ池	鳥取県	鳥取市	湖沼	水草	多鯨ヶ池	希少な水草が確認されている。
					淡水魚類	多鯨ヶ池	アカヒレタビラ、ヤリタナゴの生息地。
299	カドノカミ神戸ノ上湿地	鳥取県	日野郡日南町	低層湿原	湿原植生	神戸ノ上湿地	ハンノキ林。ジャヤナギ、ハンカイソウ、タニヘゴ、クサレダマなど。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
300	中海（大橋川を含む）	鳥取県、島根県	鳥取県境港市、米子市、島根県松江市、安来市、八束郡東出雲町・八束町・美保関町	河口干潟のある河口域、汽水湖沼、藻場	湿原植生	中海（大橋川）	オオクグ群落。
					海草	大橋川～中海	コアマモの生育地。日本海側で唯一のまとまったアマモ場。
					水草	中海・大橋川	カワツルモの汽水域の植生が良好に残存。また、大橋川河口左岸の水田には、ミズアオイ、ヒメシロアサザなどの絶滅危惧種がごく限られた範囲で生育。ミズワラビも生育。
					シギ・チドリ類	飯梨川河口	春秋の渡期の種数・個体数が比較的多く、RDB種のコシヤクシギ、セイタカシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ、ツバメチドリが記録されている。
					ガン・カモ類	中海	コハクチョウ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモの渡来地。
					昆虫類	中海	コバネアオイトトンボ、オグマサナエ、タバサナエ、アオヤンマ、ルリボシヤンマ、マルタンヤンマ、ハッチョウトンボ、ヒメアカネなどの生息地。
					底生動物	中海	アサリの生息地。
301	宍道湖（斐伊川下流部を含む）	島根県	松江市、平田市、簸川郡斐川町、八束郡宍道町・玉湯町	河口干潟のある河口域、汽水湖沼	湿原植生	宍道湖	ヨシ群落、セイコノヨシ群落。
					水草	宍道湖湖北ため池群	ガガブタ、ミズニラ、オグラノフサモ、スプタ、シャジクモの仲間などの絶滅危惧種をはじめ、多様な水草が生育。
					淡水藻類	宍道湖	絶滅危惧 類のインドオオイシソウ（紅藻）が多数生育。
					ガン・カモ類	宍道湖	マガン、キンクロハジロ、スズガモの渡来地。
					淡水魚類	宍道湖	シンジコハゼの生息地。
					昆虫類	宍道湖	1986年にナゴヤサナエが多産する事が発見された。河川で産卵し、流下卵が1/10塩分濃度の汽水域である宍道湖で羽化する。塩分濃度のわずかな変化がナゴヤサナエの生息に大きく影響する可能性がある所以要注目。
					底生動物	宍道湖	ヤマトシジミの生息地。
302	赤名湿原	島根県	飯石郡赤来町	低層湿原	湿原植生	赤名湿原	ハンノキ林。草本層はカササゲが優占し、多くの湿地性植物を伴う。
					昆虫類	赤名湿原	ネクイハムシの生息地。
303	隠岐島 <sup>ドウゴ</sup> （島後）の渓流域	島根県	隠岐郡西郷町・布施村・五箇村・都万村	河川	爬虫両生類	隠岐島の渓流域	オキタゴガエル（日本固有亜種）、オキサンショウウオ（日本固有種）の生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
304	隠岐島周辺沿岸	島根県	隠岐郡海士町・五箇村・西郷町・知夫村・都万村・西ノ島町・布施村	藻場	海藻	隠岐島周辺沿岸	希少種が多い。日本海で海藻の種数が最多。クロキツタ（国の天然記念物）の生育地。
305	ウップルイ十六島周辺沿岸	島根県	平田市	藻場	海藻	十六島周辺沿岸	ウップルイノリ、ガラモ場。
306	地倉沼	島根県	鹿足郡津和野町	湖沼	湿原植生	地倉沼	火山の堰止湖。水域からハンノキ林まで自然の湿地群落が見られる。人為的な影響のない湿地植生は、山陰・山陽では大変貴重な存在。オニナルコスゲ群落、カサスゲ・シロネ群落など。
307	岡山平野のスイゲンゼニタナゴ等生息地	岡山県	岡山市など	河川、水路	淡水魚類	岡山平野のスイゲンゼニタナゴ等生息地	スイゲンゼニタナゴ、アユモドキほか小型淡水魚類の生息地。
					淡水貝類	岡山平野の農業用水系	種の多様性が高い。イシガイ類の生息地。
308	永江川河口	岡山県	岡山市	河口干潟	底生動物	永江川河口	ヨシ原がよく保存されており、そこにオカミミガイ、ヒロクチカノコが多産する。岡山県では数少ないシオマネキの生息地でもある。
309	鯉ヶ窪・おもつぼ湿原	岡山県	阿哲郡哲西町・哲多町	低層湿原、中間湿原	湿原植生	鯉ヶ窪・おもつぼ湿原	ヒツジグサ群落、カサスゲ群落。国の天然記念物。
310	邑久郡の塩性湿地	岡山県	邑久郡邑久町・牛窓町	塩性湿地	昆虫類	邑久郡の塩性湿地	新種と見られるミズギワカメムシ、ゴミムシ、クモ、ハネカクシなど。アッケシソウ群落がある。ハマベゴミムシ、オオモンコムズギワゴミムシ、チビマルガムシ（水生）、オオツノハネカクシなど海岸砂浜に由来する甲虫類が多い。昆虫類はエリザハンミョウ、コハンミョウ、チビマルガムシ、オオツノハネカクシ、アカヒメコメツキモドキなどの甲虫類の他、未知種1種を含むミズギワカメムシ類も多く、このような湿地が残されていることは、学術上重要。アッケシソウ群落が残存している。
311	味野湾、玉野湾	岡山県	倉敷市、玉野市	藻場	海草	玉野市後閑沖	瀬戸内海山陽側沿岸内湾における大型アマモ場。
					海草	倉敷市児島港沖	瀬戸内海で最大のアマモ場。
312	細ノ洲	広島県	因島市、尾道市	藻場	海草	細ノ洲	尾道水道の陸地から離れた大潮時も干出しない砂州上のアマモ場。内湾ではなく洲にできたアマモ場。
313	安芸湾三津口	広島県	豊田郡安浦町	藻場	海草	安芸湾三津口	瀬戸内海山陽側沿岸に残っている大きなアマモ場。
314	世羅台地の湧水湿地・ため池群	広島県	世羅郡甲山町・世羅町・世羅西町、賀茂郡豊栄町	湧水湿地・ため池	湿原植生	世羅台地の湧水湿地・ため池群	ヌマガヤ湿原。水辺や水中の多様な植生。
					水草	世羅台地ため池群	希少種・絶滅危惧種を含む貴重な植生。
315	賀茂台地の湧水湿地・ため池群	広島県	東広島市、賀茂郡黒瀬町	湧水湿地、ため池	湿原植生	賀茂台地の湧水湿地・ため池群	ヌマガヤ湿原。水辺や水中の植生。また、コウホネ類、ミクリ類などの希少種を含む多様な水草も生育。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
316	東八幡原・西八幡原	広島県	山県郡芸北町	中間湿原	湿原植生	東八幡原・西八幡原	ヌマガヤ群落。カキツバタなど。
					昆虫類	東八幡原・西八幡原	ヒロシマサナエ、ヒョウモンモドキ、ヒメヒカゲ、ゴマシジミの生息地。
317	帝釈川	広島県	比婆郡東城町	河川	淡水貝類	帝釈川	カワシンジュガイ（絶滅危惧 類）の南限付近唯一の健全個体群。
318	宮島	広島県	佐伯郡宮島町	その他の湿地	昆虫類	宮島	シロウミアメンボ、ミヤジマトンボ（固有種）。ミヤジマトンボの日本産亜種の原名亜種は、中華人民共和国南部に分布しているが、台湾や沖縄にはおらず、日本でも宮島の島内3ヵ所だけに生息する特異なトンボであり絶滅危惧類。
319	広島湾東部（江田島、能美島、倉橋島等）	広島県	安芸郡音戸町・倉橋町・江田島町、佐伯郡大柿町・能美町・沖見町等	藻場	海草、海藻	広島湾東部（江田島、能美島、倉橋島等）	アマモ、ガラモ、クロメ場などが混在し、地先の生物多様性が高い。
320	広島湾西部（屋代島等）	山口県	大島郡大島町・久賀町・橘町・東和町等	藻場	海草、海藻	広島湾西部（屋代島等）	アマモ、ガラモ、クロメ場などが混在し、地先の生物多様性が高い。
321	アイオ 秋穂湾～山口湾（榎野川河口）	山口県	防府市、吉敷郡秋穂町、山口市	河口干潟、塩性湿地	昆虫類	周防灘沿岸部（佐波川河口、榎野川河口（山口湾））	ヒヌマイトトンボ。本州の主として太平洋側沿岸部の汽水域に生息している。絶滅危惧 類のイトトンボである。しかもこの生息地は雄と同色型の雌があり、日本では他に対馬の生息地しか知られていない。昆虫では、ベッコウトンボ、ヒヌマイトトンボ、イトアメンボなどの絶滅危惧種を含めた水生・半水生昆虫が豊富にみられる。特に、ベッコウトンボの発生地は年毎に異なり、広い範囲での注目が必要。
					底生動物	秋穂湾～山口湾	全国的にも希少とされる種が数多くまとまって生息する（カプトガニ、ツバサゴカイ、タイラギ、マゴコロガイ、セトウチヘソカドタマキビ、ゴマフダマ、ミドリシャミセンガイ、ヒモイカリナマコなど）。
322	阿知須干拓および土路石川河口	山口県	吉敷郡阿知須町	干拓地、干潟	ガン・カモ類	阿知須干拓および土路石川河口	マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、トモエガモ、コガモの渡来地。多くのカモ類が渡来し、特にトモエガモが多い。
323	厚東川・有帆川・厚狭川の河口	山口県	宇部市、小野田市、吉敷郡阿知須町、厚狭郡山陽町	河口干潟、塩性湿地	その他鳥類	厚狭川河口	ズグロカモメの渡来地。
					昆虫類	周防灘沿岸部（厚東川河口付近、厚狭川河口付近）	ヒヌマイトトンボ。本州の主として太平洋側沿岸部の汽水域に生息している。絶滅危惧 類のイトトンボである。しかもこの生息地は雄と同色型の雌があり、日本では他に対馬の生息地しか知られていない。昆虫では、ベッコウトンボ、ヒヌマイトトンボ、イトアメンボなどの絶滅危惧種を含めた水生・半水生昆虫が豊富にみられる。特に、ベッコウトンボの発生地は年毎に異なり、広い範囲での注目が必要。
					底生動物	厚東川河口、有帆川河口、厚狭川河口	全国的にみて希少とされる種が豊富に生息する（シマヘナタリ、クロヘナタリ、ワカウラツボ、センペイアワモチなど）。
324	厚狭川下流農業用水系	山口県	厚狭郡楠町・山陽町、小野田市	水路	淡水貝類	厚狭川下流域の農業用水系	ヒメマルマメタニシ・クルマヒラマキガイ（絶滅危惧 類）の生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
325	秋芳洞の地下水系	山口県	美祿郡秋芳町	地下水系	淡水貝類	秋芳洞の地下水系	地下水棲貝類の種の多様性が高い。ホラアナミジンナ類、ミジンツボ類の生息地。
326	油谷湾	山口県	大津郡油谷町、豊浦郡豊北町	藻場	海草、海藻	油谷湾	湾口部付近には、アラメとホンダワラ属の群落が発達。水深5m以深にカジメ群落が発達していて、日本海沿岸では最大級の群落である。また、日本海沿岸としては比較的大きいアマモ場がある。
					底生動物	油谷湾	日本海側にある広大な砂質干潟。ウミニナ、イボウミニナ、ヒラドカワザンショウなど希少種も生息。
327	青海島周辺沿岸	山口県	長門市	藻場	海草、海藻	青海島沿岸	ワカメ、テングサ場、アマモ、ガラモ、クロメ場などと混在し、地先の生物多様性が高い。
328	ジョガマル池	徳島県	板野郡板野町	ため池	水草	ジョガマル池	徳島県下ではもっとも良好な自然環境を残すため池で、ジュンサイ群落が広がり、スプタ、シズイなどの希少種も多産。
					昆虫類	ジョガマル池	水生昆虫類が豊富である。半翅類ではコオイムシ、ホッケミズムシ、ミヤケミズムシ、マルミズムシ他、種数・個体数とも多い。
329	吉野川河口、勝浦川河口	徳島県	徳島市	河口干潟のある河口域、河川	水草	吉野川下流域（河口～第十堰）	イセウキヤガラ、コアマモなど汽水域の水生植物が良好に生育。群落規模も全国有数。
					シギ・チドリ類	吉野川河口干潟	春秋の渡り期の個体数が比較的多い。シロチドリでは最小推定個体数の1%以上、ダイゼン、メダイチドリ、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のカラフトアオアシシギ、コシャクシギ、ホウロクシギ、アカアシシギが記録されている。
					昆虫類	吉野川中下流域・河口（沖洲海岸を含む）	ルイスハンミョウの生息地。
					底生動物	吉野川河口、勝浦川河口	長大な汽水域に塩性湿地が豊富に点在。シオマネキの生息数が極立って多い。ヒロクチカノコ、ウモレベンケイガニ、フタハピンノの生息地。
330	大津田川流域の用水路網	徳島県	阿南市	水路	水草	大津田川流域の用水路網	農業用水路の生態系が良好に維持され、水生植物が多産。
331	蒲生田海岸	徳島県	阿南市	砂浜、浅海域	ウミガメ	蒲生田海岸	アカウミガメの主要な産卵地である。
332	伊島および周辺沿岸	徳島県	阿南市	藻場、その他の湿地	海藻	伊島周辺沿岸	フシスジモク（太平洋岸暖流域唯一の群落）など。
					昆虫類	伊島の湿地	谷戸から海岸に続く湿地で、タガメとゲンゴロウが記録されている。これらの昆虫は、現在、四国では稀である。
333	橘湾	徳島県	阿南市	藻場	海藻	橘湾	イトモクの仲間（タイプ産地の柏島では磯焼けのため絶滅、本種は実体が不明なため分類学的検討必要）、タマハハキモク。分布領域が広く、密生している。
334	日和佐大浜海岸	徳島県	海部郡日和佐町	砂浜、浅海域	ウミガメ	日和佐大浜海岸	アカウミガメの主要な産卵地である。
335	牟岐大島周辺沿岸	徳島県	海部郡牟岐町	サンゴ礁	サンゴ	牟岐大島	希少種を含む。
336	出羽島の池	徳島県	海部郡牟岐町	汽水湖沼	淡水藻類	出羽島汽水	絶滅危惧 類および国天然記念物のシラタマモが生育。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
337	宍喰地先沿岸	徳島県	海部郡宍喰町	藻場、サンゴ礁	海藻	宍喰地先沿岸	多くの種類のホンダワラ類が混成している。ガラモ、カジメ・クロメ場などと混在し、地先の生物多様性が高い。テングサ生育地。
					サンゴ	阿波竹が島	希少種を含む。
338	クロゾウ黒沢湿原	徳島県	三好郡池田町	中間湿原、低層湿原	湿原植生	黒沢湿原	県の天然記念物。ヤマトミクリ - ヒメミクリ群落、ミズゴケ類群落（オオミズゴケ、ハリミズゴケ）、ヨシ - カサスゲ群落。
					昆虫類	黒沢湿原	サラサヤンマ、ルリボシヤンマ、タカネトンボ、オオコイムシ（四国初）、ヘリグロミズカメムシ（四国初）などが生息し、昆虫相からも四国では貴重な場所である。
339	鳴門海峡	徳島県	鳴門市	藻場	海藻	鳴門海峡	ガラモ、カジメ・クロメ場などと混在し、地先の生物多様性が高い。ワカメ生育地。なお、ウチノ海には瀬戸内海四国側で唯一まとまった規模でアマモ場が存在する。
340	香川県低地の水田、ため池などの湿地	香川県	東讃部の一部	水田、ため池	淡水魚類	香川県のため池群	ニッポンバラタナゴの生息地。
					爬虫両生類	香川県低地の水田、ため池などの湿地	岡山型ダルマガエル(日本固有亜種)の生息地。近年、激減しているため要注目。
341	テシマ豊島ため池群	香川県	小豆郡土庄町	ため池	水草	豊島ため池群	豊島南西海岸周辺の小規模な湿地・ため池群。ヒメシロアサザ、マルバノサウトウガラシ、アカウキクサ、カワツルモなどが生育。
342	満濃池周辺のため池群	香川県	仲多度郡満濃町	ため池	水草	満濃池周辺のため池群	香川県下ではもっとも多くの水生植物の生育が確認されている一帯。ミズニラ、ミズニラモドキ、ヒメミクリ、ヤマトミクリ、オヒルムシロ、イトトリゲモ、ミスミイ、ヒメタヌキモなどが生育。
343	加茂川河口	愛媛県	西条市	河口干潟	シギ・チドリ類	加茂川河口	春秋の渡り期の種数・個体数が比較的多く、RDB種のコシヤクシギ、セイタカシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ、オオジシギが記録されている。
					その他鳥類	加茂川河口	ズグロカモメの渡来地。
344	皿ヶ嶺湿地	愛媛県	温泉郡重信町、上浮穴郡久万町	その他の湿地	昆虫類	皿ヶ嶺湿地	ベニモンカラスシジミ、スジボソヤマキチョウ、アイノミドリシジミ、ウラクロシジミ、マダラクワガタ、トサオサムシ、モンヒメマキムシモドキなどの生息地。
345	重信川河口	愛媛県	松山市、伊予郡松前町境	河口干潟のある河口域	シギ・チドリ類	重信川河口	春秋の渡り期の個体数が比較的多い。チュウシャクシギでは最小推定個体数の1%以上、メダイチドリ、キアシシギ、キョウジョシギ、ハマシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のアカアシシギ、ホウロクシギが記録されている。
					底生動物	重信川河口	底生動物の種の多様性が高い。
346	ヒジカワ肱川下流域の農業用水系	愛媛県	大洲市	水路	淡水貝類	肱川下流域の農業用水系	種の多様性が高い。ヒメマルマメタニシ、クルマヒラマキガイ、イシガイ類、マメシジミ類の生息地。
347	伊方町地先沿岸	愛媛県	西宇和郡伊方町	藻場	海藻	伊方町地先沿岸	瀬戸内海タイプのクロメ場。（仁田之浜、伊方港）、クロキツタ（町の天然記念物、島根県隠岐とここだけに分布）。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
348	宇和海島嶼部周辺沿岸	愛媛県	宇和島市、八幡浜市	藻場	海藻	宇和海島嶼部周辺沿岸	多くの種類のホンダワラが混成している。クロメ場、ガラモ場などと混在し、地先の生物多様性が高い。(地大島)典型的なクロメとヒロハクロメ(中央葉幅60cmまで)の群落が近接している、ヒロメ、トサモク?(タイプ産地の柏島では磯焼けのため絶滅、本種は実体が不明なため分類学的検討必要)、海中林、ヒロメ混生。
349	松山地区のオオイタサンショウウオの生息地	高知県	土佐清水市	その他の湿地	爬虫両生類	松山地区のオオイタサンショウウオの生息地	オオイタサンショウウオ(日本固有種)の生息地。
350	四万十川下流・河口域	高知県	中村市	河川、藻場	海草、海藻	四万十川河口	コアマモの生育地、アオノリ群落。
					淡水魚類	四万十川下流・河口域	アカメ、ゴマフエダイ、トビハゼの生息地。
					底生動物	四万十川下流域	シオマネキの生息地。
351	中村市トンボ自然公園	高知県	中村市	その他の湿地	昆虫類	中村市トンボ自然公園	コフキヒメイトトンボ、シコクトゲオトンボ、ミナミヤンマ、ネアカヨシヤンマ、マルタンヤンマなどの生息地。
352	土佐清水鵜簀、 <sup>ウハエ ヒラバエ</sup> 平簀、見残し周辺沿岸	高知県	土佐清水市	サンゴ礁	サンゴ	土佐清水鵜簀、平簀	種の多様性が高い。
					サンゴ	土佐清水見残し	希少種を含む。
353	龍河洞の地下水系	高知県	香美郡土佐山田町	地下水系	淡水貝類	龍河洞の地下水系	地下水棲貝類の多様性が高い。ホラアナミジンナ類、ミジンツボ類が生息。
354	<sup>ヨコバエ</sup> 横簀周辺沿岸	高知県	須崎市	藻場	海藻	横簀周辺沿岸	太平洋暖海域の代表的なガラモ場群落。トゲモクの均一な群落。
355	浦ノ内湾	高知県	土佐市、須崎市	藻場	海藻	浦ノ内湾	マメタワラ群落(葉が広いタイプ)、アナアオサ。
356	室戸岬周辺沿岸	高知県	室戸市	藻場	海藻	室戸岬周辺沿岸	典型的なクロメ場。生育地が広く採取しやすい。(注)この藻場は、アオウミガメの採食海域である可能性が高いと思われ、要注目。
357	夜須町地先沿岸	高知県	香美郡夜須町	藻場	海藻	夜須町地先沿岸	暖海性の特徴を持ったカジメの安定した群落(磯焼けが拡大)。
358	お糸池	福岡県	北九州市	湧水地	水草	お糸池	希少種が残存。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
359	曽根干潟	福岡県	北九州市	干潟	シギ・チドリ類	曽根干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、シロチドリ、チュウシャクシギでは最小推定個体数の1%以上、ダイゼン、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、キアシシギ、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のカラフトアオアシシギ、コシャクシギ、ホウロクシギ、アカアシシギ、オオジシギが記録されている。
					ガン・カモ類	曽根干潟	スズガモ、ツクシガモの渡来地。
					その他鳥類	曽根干潟	ズグロカモメの渡来地。
					底生動物	曽根干潟	カプトガニの産卵地。希少種のツバサゴカイ、ムギワラムシ、ハクセンシオマネキなども豊富。
360	筑前大島・地ノ島周辺沿岸	福岡県	宗像郡大島村	藻場	海藻	筑前大島・地ノ島周辺沿岸	ツルアラメ（かなり大きな群落。日本最大か？）。海中林。
361	長井浜～西角田漁港周辺干潟	福岡県	行橋市、築上郡椎田町	干潟	底生動物	長井浜～西角田漁港周辺干潟	シオマネキの生息数が極めて高い。ムギワラムシとそれに寄生するヤドカリダマシ、それにマテガイ、バカガイも多産。
362	千鳥が池	福岡県	古賀市	湖沼	昆虫類	千鳥が池	丘陵地にある小さな池で、周囲は公園化しているものの、コバンムシ、エサキアメンボなどのRDB種や、オオマルケシゲンゴロウ、タマガムシ、ハネナシアメンボ、ミゾナシミズムシ、ハネビロトンボが記録され、周辺にはクロツバメシジミ、ミカドアゲハなどが生息する。
363	福岡湾（和白干潟・今津干潟）	福岡県	福岡市	干潟	シギ・チドリ類	和白干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、ミヤコドリ、メダイチドリ、チュウシャクシギ、キアシシギ、ミユビシギ、トウネン、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のカラフトアオアシシギ、ヘラシギ、コシャクシギ、ホウロクシギ、アカアシシギ、オオジシギが記録されている。
					シギ・チドリ類	今津干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、シロチドリでは最小推定個体数の1%以上、ミヤコドリ、チュウシャクシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のセイタカシギ、ホウロクシギ、アカアシシギ、ツバメチドリ、オオジシギが記録されている。
					ガン・カモ類	和白干潟（博多湾）	スズガモの渡来地。
					その他鳥類	博多湾・今津	クロツラヘラサギの渡来地。
					その他鳥類	博多湾・和白	クロツラヘラサギの渡来地。
底生動物	和白干潟	豊富な鳥類と塩生植物。ベントス相も豊富で、ウミニナ、オオノガイ、ツバサゴカイといった希少種も多い。					
364	田主丸町の農業用水系	福岡県	田主丸町	水路	淡水魚類	田主丸町の農業用水系	ヒナモロコの生息地。在来魚種の多様性が高い。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
365	有明海（筑後川河口～矢部川河口、東与賀海岸、六角川河口～塩田川河口、鹿島海岸、田古里川河口、諫早湾、荒尾海岸）および筑後川（感潮域）	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県	福岡県大川市、柳川市、大和市、大牟田市、久留米市、三潆郡三潆町・城島町、佐賀県佐賀郡川副町・東与賀町・久保田町・諸富町、小城郡芦刈町、杵島郡福富町・白石町・有明町、鹿島市、鳥栖市、三養基郡北茂安町・三根町、神埼郡千代田町、長崎県北高来郡小長井町・高来町・森山町、諫早市、南高来郡愛野町・吾妻町・瑞穂町・国見町・有明町、熊本県荒尾市、玉名郡横島町・天水町、熊本市、宇土市、天草郡松島町	干潟、河川、塩性湿地、浅海域	淡水魚類	筑後川（感潮域）	アリアケシラウオ、アリアケヒメシラウオ、エツ、ヤマノカミの産卵地。
					底生動物	筑後川河口～沖端川河口、矢部川河口	日本の他地域には見られない大陸遺存性の強内湾系種、アリアケガニ、ハラグクレチゴガニ、ウミマイマイなどの多産地。
					湿原植生	東与賀海岸	シチメンソウ（絶滅危惧 類）の我が国最大の生育地。
					シギ・チドリ類	東与賀海岸（大授搦）	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、ダイゼン、ハマシギ、ダイシャクシギでは最小推定個体数の1%以上、シロチドリ、メダイチドリ、アオアシシギ、ソリハシギ、キアシシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のカラフトアオアシシギ、コシャクシギ、アカアシシギ、ホウロクシギが記録されている。
					ガン・カモ類	東与賀海岸（大授搦）	ツクシガモの渡来地。
					シギ・チドリ類	早津江川河口・平和搦	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、ダイゼン、ソリハシギ、キアシシギ、ハマシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギが記録されている。
					その他鳥類	東与賀海岸（大授搦）	ズグロカモメの渡来地。
					シギ・チドリ類	鹿島海岸（新籠）	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、ダイゼン、メダイチドリ、チュウシャクシギ、ソリハシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。
					ガン・カモ類	鹿島海岸（新籠）	ツクシガモの渡来地。
					その他鳥類	鹿島海岸（新籠）	ズグロカモメの渡来地。
					底生動物	田古里川河口	サキグロタマツメタ、ハイガイ、イチョウシラトリ、ムツハアリアケガニなどの希少種が分布。
					底生動物	六角川～塩田川河口	希少巻貝オオクリイロカワザンショウの比類なき多産地。シマヘナタリ、クロヘナタリ、キヌカツギハマシイノミといった希少種も多産。
					シギ・チドリ類	諫早湾	かつては、春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が多く、RDB種ではカラフトアオアシシギ、ホウロクシギが記録された。しかし、現在は干拓事業により渡来数が激減しており要注目。
					ガン・カモ類	諫早湾	マガモ、オナガガモ、スズガモの渡来地。
その他鳥類	諫早湾	ズグロカモメの渡来地。干拓事業により渡来数が激減しており、要注目。					
シギ・チドリ類	荒尾海岸	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、ダイゼンでは最小推定個体数の1%以上、メダイチドリ、ハマシギでは0.25%以上以上が記録されている。					
淡水魚類	有明海周辺	エツ、アリアケヒメシラウオ、ムツゴロウ、タビラクチ、ハゼクチ、ワラスボ、ヤマノカミなど大陸性魚類の生息地。					

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
366	筑紫平野の河川・水路など	福岡県、佐賀県	福岡県久留米市、柳川市など、佐賀県佐賀市、神埼郡神埼町など	河川、水路	水草	佐賀平野クリーク	特に未改修のクリーク。ヒシモドキ、タヌキモ、オニバスはじめ多くの水生植物が生育。
					淡水魚類	筑紫平野の在来タナゴ類生息地	在来タナゴ類、オヤニラミの生息地。
					昆虫類	佐賀平野クリーク	トゲナベブタムシ（絶滅危惧 類）の生息地。
					淡水貝類	二つ川	種の多様性が高い。イシガイ類の生息地。
367	檜原湿原	佐賀県	東松浦郡七山村	低層湿原、湧水湿地	湿原植生	檜原湿原	コイヌノハナヒゲ群落など。ノハナショウブ、ミツガシワなど。
					水草	檜原湿原	絶滅危惧種ヒメタヌキモ、ヒメミクリの他に遺存分布種ミツガシワが生育。湿地植生も豊富。
					昆虫類	檜原湿原	ゲンゴロウ、ミヤケミズムシの生息地。
368	星賀塩生湿地	佐賀県	東松浦郡肥前町	塩性湿地	水草	星賀塩生湿地	入江の砂泥地一帯にコアマモ群生。隣接してアマモ群落があり、渚の原風景を残す場所。
369	イロ八島一帯	佐賀県	東松浦郡肥前町	遠浅の海岸（岩礁）、入江	昆虫類	イロ八島一帯	シオアメンボ（絶滅危惧 類）、シロウミアメンボ（絶滅危惧 類）、ミズギワゴミムシの生息地。
370	伊万里湾	佐賀県	伊万里市、北松浦郡福島町	浅海域	底生動物	伊万里湾	奥深い内湾に複雑な地形を持ち、オキヒラシイノミ、ワカウラツボ、カハタレカワザンショウ、ヨシダカワザンショウといった希少種が生息。
371	東松浦半島北部（小川島、神集島を含む）沿岸	佐賀県	唐津市、東松浦郡呼子町	藻場	海藻	東松浦半島北部（小川島・神集島含む）沿岸	日本海沿岸では、最も広いアラメ群落がある。海中林。
372	志々伎湾	長崎県	平戸市	藻場	海草	志々伎湾	アマモ大規模群落。
373	平戸海峡	長崎県	平戸市	藻場	海草、海藻	平戸海峡	アマモ、アラメ、ワカメ、アオワカメ、ツルアラメ、海中林、ワカメ場。
374	南九十九島周辺沿岸	長崎県	佐世保市	浅海域	昆虫類	南九十九島	多くの小島を含む入り込んだ沿岸部で、海岸は岩礁で海水も汚れていない。絶滅危惧種のシオアメンボ（絶滅危惧 類）、シロウミアメンボ（絶滅危惧 類）の他、ケシウミアメンボなど沿岸性のウミアメンボ類が生息している。
375	壱岐島の河川	長崎県	壱岐郡	河川	淡水魚類	壱岐島（谷江川、梅ノ木川、幡鉾川）	在来タナゴ類（カゼトゲタナゴ、セボシタビラなど）、アリアケギバチ、メダカなど九州要素淡水魚類が生息し種の多様性が高い。
					淡水貝類	壱岐島の河川（谷江川、梅ノ木川、幡鉾川）	トンガリササノハガイ（準絶滅危惧）の西限。
376	壱岐島石影浦	長崎県	壱岐郡	サンゴ礁	サンゴ	壱岐のサンゴ礁	壱岐（石影浦）は対馬と並ぶサンゴ礁の北限域である。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
377	対馬河流域	長崎県	上県郡、下県郡	河川	爬虫両生類	対馬河流域	ツシマサンショウウオ(日本固有種)の生息地。
					昆虫類	対馬河流域	オオアメンボ、シマアメンボ、タニガワミズギワカメムシなどの水生半翅類も豊富。
378	対馬・ <sup>アソウ</sup> 浅茅湾および綱浦	長崎県	下県郡美津島町・豊玉町	浅海域	サンゴ	対馬のサンゴ礁	対馬(綱浦)は壱岐と並ぶサンゴ礁の北限域である。
					昆虫類	対馬・浅茅湾	シオアメンボ(絶滅危惧 類)3カ所、シロウミアメンボ(絶滅危惧 類)十数カ所、ケシウミアメンボの生息地。ヒヌマイトトンボ。雄と同色型の雌のヒヌマイトトンボがいる。
379	対馬・田ノ浜	長崎県	上県郡上県町	その他の湿地	昆虫類	対馬・田ノ浜	対馬では唯一、抽水植物が発達する広い湿地。対馬では少なくなったタイコウチが生息し、最近ではエサキアメンボも見つかり、豊富な水生半翅類相を示している。また、タイリクアカネやタイリクアキアカネなど、大陸と関連がある昆虫が多い。
380	七ツ釜鍾乳洞の地下水系	長崎県	西彼杵郡西海町	地下水系	淡水貝類	七ツ釜鍾乳洞の地下水系	ナナツガマホラアナミジンナ・ナナツガマミジンツボ(絶滅危惧 類)の模式および唯一の生息地。
381	コウジロ 神代川	長崎県	南高来郡国見町	河川	淡水藻類	神代川	絶滅危惧 類のオキチモズク(紅藻)が生育。
382	島原半島南部沿岸	長崎県	南高来郡南有馬町	藻場	海草	島原半島南部	島原半島南部にある有明海最大のアマモ場。
383	平尾免地先沿岸	長崎県	松浦市	藻場	海藻	平尾免地先沿岸	イトテングサ(群落を形成)。
384	志津川	熊本県	阿蘇郡南小国町	河川	淡水藻類	志津川	絶滅危惧 類のオキチモズク(紅藻)が生育。
385	江津湖・上江津湖水系	熊本県	熊本市	湖沼、湧水池	水草	江津湖水系	ヒラモ、ヒメバイカモは、現在ではこの水系にしか自生しない。九州の湧水植生の代表。
					淡水藻類	上江津湖	絶滅危惧 類のスイゼンジンノリ(藍藻)の唯一の生育地。
386	菊池川・白川・緑川河口	熊本県	山鹿市、玉名郡横島町・天水町、熊本市、玉名市、宇土市	河川、河口干潟のある河口域	淡水藻類	菊池川	絶滅危惧 類および国天然記念物のチスジノリ(紅藻)の生育地。
					シギ・チドリ類	白川河口・緑川河口	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、シロチドリでは最小推定個体数の1%以上、ソリハシシギ、ハマシギでは0.25%が記録されている。RDB種はホウロクシギが記録されている。
					淡水魚類	緑川(感潮域)	アリアケシラウオ、アリアケヒメシラウオの生息地。
					底生動物	菊池川河口～塩屋海岸	希少種タケノコカワニナ、センベリアワモチが多産。シイノミミガイの有明海唯一の現存生息地。
					底生動物	緑川河口～住吉神社付近	塩性湿地固有の絶滅危惧種が多産。泥干潟にはササゲミミエガイが多産。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
387	不知火干潟周辺	熊本県	下益城郡松橋町、宇土郡不知火町、発白郡竜北町・鏡町	河口干潟のある河口域	シギ・チドリ類	不知火干潟（大野川・砂川河口）	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多い。RDB種のホウロクシギが記録されている。
					その他鳥類	不知火干潟（大野川・砂川河口）	ズグロカモメの渡来地。
					底生動物	大野川河口	有明海を代表する種、クロヘナタリ、シマヘナタリ、アズキカワザンショウ、シオマネキ、アリアケガニ、ムツゴロウが豊富に生息する。有明海でも現在分布が限られるウミマイマイも見られる。
					その他鳥類	氷川河口	クロツラヘラサギの渡来地。
388	クマ 球磨川河口	熊本県	八代市	河口干潟のある河口域	シギ・チドリ類	球磨川河口	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、シロチドリ、ソリハシシギ、キアシシギでは最小推定個体数の1%以上、ダイゼン、メダイチドリ、チュウシャクシギ、キアシシギ、ハマシギでは0.25%以上が記録されている。RDB種のヘラシギ、アカアシシギが記録されている。
					その他鳥類	球磨川河口	ズグロカモメの渡来地。
389	天草・大矢野島周辺沿岸	熊本県	天草郡大矢野町・松島町	藻場、干潟	海草	宮津湾	天然藻場と移植により修復した藻場であり、日本（太平洋）におけるアマモの分布最南端のまとまった藻場（アマモ）。イチマツノリの生育地。
					底生動物	永浦干潟	日本最大のハクセンシオマネキ生息地。
390	ツウジ 天草灘通詞島周辺沿岸	熊本県	天草郡五和町	藻場	海草、海藻	天草灘通詞島周辺	アマモ、ガラモ、カジメ・クロメ場などと混在し、地先の生物多様性が高い。通詞島：十数種のホンダワラ科海藻を産するが、ジョロモク、アカモク、ヤツマタモク、ノコギリモクなどが優占。
391	苓北町富岡地先沿岸	熊本県	天草郡苓北町	藻場	海藻	苓北町富岡地先沿岸	浅所のイソモク、マメタワラの外側にヤツマタモク、アカモクが帯状に分布。
392	天草牛深（片島、大島、桑島）周辺沿岸	熊本県	牛深市	サンゴ礁	サンゴ	天草牛深（片島、大島、桑島）	種の多様性が高く、希少種を含む。
393	九州中央山地源流域のベッコウサンショウウオ等生息地	熊本県、宮崎県、鹿児島県		河川	爬虫両生類	九州中央山地源流域のベッコウサンショウウオ生息地	五ヶ瀬川、緑川、球磨川、一ツ瀬川、大淀川、川内川など各水系の源流域。ベッコウサンショウウオ（日本固有種）、ブチサンショウウオ（日本固有種）の生息地。
394	姫島周辺沿岸	大分県	東国東郡姫島村	藻場	海草、海藻	姫島周辺沿岸	ノコギリモク、ホンダワラ、トゲモクなど、アマモ、ガラモ、カジメ・クロメ場などと混在し、地先の生物多様性が高い。
395	野依新池	大分県	中津市	湖沼	昆虫類	野依新池	ベッコウトンボ、コバネアオイトトンボ、オオキトンボ、ベニイトトンボ、ネアカヨシヤンマなどの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
396	中津海岸・宇佐海岸	大分県	中津市、宇佐市、豊後高田市	干潟、浅海域	シギ・チドリ類	中津干潟	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、ダイゼン、チュウシャクシギ、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。
					シギ・チドリ類	宇佐海岸	春秋の渡期の種数・個体数が比較的多く、ダイゼン、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のホウロクシギが記録されている。
					その他鳥類	中津干潟	ズグロカモメの渡来地。
					淡水魚類	豊前海沿岸および別府湾北部	アオギスの生息地。山国川、駅館川、桂川、八坂川などの河口域やその周辺沿岸。
					底生動物	中津港周辺	強内湾性の貝類（ヒロクチカノコ、クロヘナタリ、シマヘナタリ、サキクロタマツメタ、オカミミガイ、タイラギ、ムラサキガイ、イチョウシラトリなど）が豊富。
397	アジム 安心院町のため池群	大分県	宇佐郡安心院町	ため池	昆虫類	安心院町水田用溜池	安心院町・日指ダム周辺に広がる溜池群で、絶滅危惧種のイトアメンボをはじめとして水生昆虫類が多く生息している。
398	守江湾（八坂川河口）	大分県	中津市、宇佐市、豊後高田市、杵築市	干潟、浅海域	シギ・チドリ類	守江湾(八坂川河口)	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多い。ダイゼン、メダイチドリ、ハマシギでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のコシャクシギ、アカアシシギ、ホウロクシギが記録されている。
					淡水魚類	豊前海沿岸および別府湾北部	アオギスの生息地。山国川、駅館川、桂川、八坂川などの河口域やその周辺沿岸。
					底生動物	守江湾	前浜干潟ではカプトガニ、アオギスといった希少種が生息。ツバサゴカイ、ハマグリ、カガミガイ、オサガニといった他の地域では少ない種が豊富に見られる。八坂川河口では、塩性湿地にオカミミガイ類が豊富。
399	小深江漁港周辺干潟	大分県	速見郡日出町	干潟	底生動物	小深江漁港周辺干潟	シオマネキ、ハクセンシオマネキに加え、センベリアワモチ、イチョウシラトリなど希少貝類が豊富。
400	小田の池	大分県	大分郡湯布院町	中間湿原、湖沼	湿原植生	小田の池	泥炭層の発達する湖成湿原。ヌマガヤ・ヌマクロボスゲ群落、ミカヅキグサ・コアナミズゴケ群落などの泥炭層湿原群落。ヌマガヤ、ミツガシワ、マアザミ、コアナミズゴケ、ハリミズゴケなど。ヨシ群落、ヌマガヤ・マアザミ群落、オニナルコスゲ群落、カサスゲ群落、ヤマドリゼンマイ群落、クログワイ群落、フトイ群落などの泥炭層周辺部群落や池沼群落。ヨシ、マアザミ、オニナルコスゲ、カサスゲ、フトイ、クログワイ、ハンカイソウ、ヤマドリゼンマイなど。
					水草	小田の池	北方寒冷地要素（ミツガシワ、コタヌキモ）の南限生育地。湿原植生も豊か。
401	金鱗湖周辺の温泉水路	大分県	大分郡湯布院町	水路	淡水貝類	金鱗湖周辺の温泉水路	オンセンミズゴマツボ（絶滅危惧 類）の模式産地かつ現存生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
402	九重火山群湿原（西千里浜、坊がツル、タデ原）	大分県	玖珠郡九重町、直入郡久住町	中間湿原	湿原植生	九重火山群湿原（西千里浜、坊がツル、タデ原）	火山山頂帯や山麓湧水地に形成された湿原。（西千里浜）コケモモ・ヒメミズゴケ群落、ニッコウコウガイゼキショウ群落、クジュウイヌノヒゲ群落。コケモモ、ニッコウコウガイゼキショウ、クジュウイヌノヒゲ、エゾシロネ、ヒメミズゴケなど。（坊がツル）ヌマガヤ・ヒメミズゴケ群落、ヌマガヤ・ヌマクロボスゲ群落、ヤチカワズスゲ群落、ツクシイヌイ群落。ヌマガヤ、ヌマクロボスゲ、ヤチカワズスゲ、ヤマアゼスゲ、タニカワズスゲ、ツクシイヌイ、リュウキンカ、ヒメミズゴケ、オオミズゴケなど。（タデ原）ヨシ・アカバナ群落、ヌマガヤ・ヒメミズゴケ群落、ノリウツギ・ヒメミズゴケ群落。ヨシ、ヌマガヤ、ノリウツギ、ヤマアゼスゲ、ヤチカワズスゲ、エゾツリスゲ、キスゲ、リュウキンカ、クサレダマ、アカバナ、シモツケソウ、ヒメミズゴケ、オオミズゴケなど。
403	松岡・敷戸のため池群	大分県	大分市	ため池	ガン・カモ類	松岡・敷戸の溜池群	オシドリの渡来地。オシドリの日本越冬個体群の1%を優に越える。
404	エダ家田・川坂湿原	宮崎県	宮崎県東臼杵郡北川町	湧水地、放棄水田	水草	家田・川坂湿原	希少種・固有種の水生植物が多く、新種も発見されている。
405	門川湾・御銚ヶ浦（細島港）	宮崎県	東臼杵郡門川町、日向市	藻場	海藻	門川湾・御銚ヶ浦（細島港）	（門川港）カジメ（南限）、クロメ、トゲモク（南限、秋に成熟する個体群）、ヤツマタモクなど・海中林。（御銚ヶ浦（細島港））：アラメ場。太平洋側の多年生アマモの南限、1999年におけるクロメの南限。
406	島浦島周辺沿岸	宮崎県	延岡市、東臼杵郡北浦町	サンゴ礁、藻場	サンゴ	延岡島浦	希少種を含む。
					海草、海藻	島浦島-阿蘇	アマモ、ウミヒルモ、ワカメ、ヒロメ、シマウラモク、オバクサなど。ワカメ場、テングサ場。
407	宮崎市周辺の砂浜海岸	宮崎県	児湯郡都農町・川南町・高鍋町・新富町、宮崎県佐土原町、宮崎市	砂浜、浅海域	ウミガメ	宮崎市周辺の砂浜海岸	アカウミガメの主要な産卵地である。
408	五ヶ瀬川、 <sup>ホオリ</sup> 祝子川、北川の感潮域	宮崎県	延岡市	河口干潟のある河口域	底生動物	五ヶ瀬川、祝子川、北川の感潮域	清浄な河口汽水域を持ち、ヨシ原も豊富。希少種、タケノコカワニナ、カワスナガニが多産する。他にイドミズハゼ、トゲアシヒライソガニモドキ、タイワンヒライソモドキといった貴重種も生息する。
409	日南市～南郷町ため池群	宮崎県	日南市、南那珂郡南郷町	ため池	水草	日南市～南郷町ため池群	ミズキンバイ、ミズスギナ、シナミズニラなどの希少種が生育する良好なため池群。
410	大淀川水系岩瀬川オオヨドカワゴロモ自生地	宮崎県	小林市	河川	水草	大淀川水系岩瀬川オオヨドカワゴロモ自生地	オオヨドカワゴロモ（1999年に新種として記載）の唯一の自生地。しかし、危機的状況。
411	宮崎市湧水地帯のオオイタサンショウウオ生息地	宮崎県	宮崎市	湧水地	爬虫両生類	宮崎市湧水地帯のオオイタサンショウウオ生息地	オオイタサンショウウオ（日本固有種）の生息地。
412	青島周辺沿岸	宮崎県	宮崎市	藻場	海藻	青島周辺沿岸	ヤタバグサ（希少種）、ユイキリ、ワカメ、タマハハキモク（南限）、ホンダワラ属の1種の生育地。
413	本城川河口～千野川河口	宮崎県	串間市	河口干潟のある河口域	底生動物	本城川河口～千野川河口	多様な塩生植物に加え、タケノコカワニナ、ハザクラガイ、フトヘナタリなどの希少種が生息。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
414	都井岬周辺沿岸	宮崎県	串間市	藻場	海草、海藻	都井岬周辺沿岸	コアマモ、ヒラネジモク（南限、秋に成熟する個体群があり重要）、ヨレモクモドキ（南限）、タマナシモク（南限付近）など。九州南部では藻場の消失が著しく、貴重なガラモ場。
415	栄松地先沿岸	宮崎県	南那珂郡南郷町、日南市	藻場	海草	栄松地先沿岸	多年生アマモの南限。
416	志布志町のカワゴケソウ類自生地	鹿児島県	曽於郡志布志町	河川	水草	安楽川、前川のカワゴケソウ類自生地	カワゴロモが自生する。温帯域にカワゴケソウ科植物が生育することは世界的に見てもきわめて稀。安楽川（ウスカワゴロモ）、前川（ウスカワゴロモ）。
417	大隈半島のカワゴケソウ類自生地	鹿児島県	肝属郡大根占町・根占町・田代町	河川	水草	神ノ川、雄川のカワゴケソウ類自生地	カワゴケソウとカワゴロモが自生する。温帯域にカワゴケソウ科植物が生育することは世界的に見てもきわめて稀。神ノ川（カワゴロモ）・雄川（カワゴロモ、タシロカワゴケソウ）。
418	薩摩半島のカワゴケソウ類自生地	鹿児島県	川辺郡川辺町、揖宿郡額娃町	河川	水草	万之瀬川のカワゴケソウ類自生地	カワゴケソウが自生する。温帯域にカワゴケソウ科植物が生育することは世界的に見てもきわめて稀。万之瀬川（マノセカワゴケソウ）。
						馬渡川のカワゴケソウ類自生地	カワゴケソウが自生する。温帯域にカワゴケソウ科植物が生育することは世界的に見てもきわめて稀。馬渡川（トキワカワゴケソウ）。
419	センダイ川内川のカワゴケソウ類およびチスジノリ生育地	鹿児島県	薩摩郡宮之城町、伊佐郡菱刈町	河川	水草	川内川のカワゴケソウ類自生地	カワゴケソウが自生する。温帯域にカワゴケソウ科植物が生育することは世界的に見てもきわめて稀。川内川（カワゴケソウ）。
					淡水藻類	川内川のチスジノリ生育地	絶滅危惧 類および国天然記念物のチスジノリ（紅藻）の生育地。
420	長島周辺沿岸	鹿児島県	出水郡長島町	藻場	海草、海藻	長島周辺沿岸	アマモ、ガラモ場などと混在し、地先の生物多様性が高い、ワカメ生育地。
421	アクネ阿久根地先沿岸	鹿児島県	阿久根市	藻場	海藻	阿久根地先沿岸	亜熱帯性ホンダワラ属の種を含む大面積のガラモ場。（注）この藻場はアオウミガメの採食海域である可能性が高いと思われ、今後の注目が必要。
422	イズミ出水干拓地	鹿児島県	出水市、出水郡高尾野町	河口干潟のある河口域、水田	その他鳥類	出水	ナベヅル・マナヅルの渡来地。
423	クシキノ串木野市羽島地先沿岸	鹿児島県	串木野市	藻場	海藻	串木野市羽島地先沿岸	マメタワラ、ヤツマタモク等のほか、亜熱帯性のフタエモクなどが優占種となっている。
424	イムタ蘭牟田池	鹿児島県	薩摩郡祁答院町	低層湿原、湖沼	湿原植生	蘭牟田池	ジャヤナギ群落など。ジュンサイ、コタヌキモ、ハデフラスコモなど。
					昆虫類	蘭牟田池	ベッコウトンボの生息地。

番号	湿地名	都道府県	市町村名	湿地タイプ	生物群	生育・生息域	選定理由
425	鹿児島湾（桜島漁港・浜町・鴨池港・生見のアマモ場群落、重富海岸、天降川河口、喜入町メヒルギ林湿地、岩崎川、鈴川、米倉川など）	鹿児島県	始良郡始良町・隼人町、国分市、指宿郡喜入町	河口干潟のある河口域、藻場、マングローブ林	底生動物	天降川河口域とその周辺	日本在来のハマグリ <sup>1</sup> の健在 <sup>2</sup> 地。希少二枚貝のハザクラガイ、ユウシオガイ、マゴコロガイも多い。ヒラタブンブクが高密度に生息するところもある。オサガニも多い。
					底生動物	重富海岸	鹿児島湾内に残された自然干潟。種の多様性が高い。
					海草	鹿児島湾沿岸の1年生アマモ場群落	真性の1年生アマモ場群落。桜島漁港：1年生アマモの大きな藻場（1年生だが草丈2m以上、貴重なアマモ場）。浜町：アマモ場。鴨池港：アマモの南限、1年生アマモの南限。生見：アマモの南限、1年生アマモの南限の群落。
					マングローブ林	岩崎川	メヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。国天然記念物。
					マングローブ林	鈴川	メヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。
					マングローブ林	米倉川	メヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。国天然記念物。
					甲殻類	喜入町のメヒルギ林湿地	喜入町のメヒルギは、分布最北限のマングローブとして注目され、国の特別天然記念物に指定されている。この生育域は面積的に小さいが重要。そこには、イワガニ類が生息している。
底生動物	喜入町メヒルギ林湿地	ウミナガサの個体数密度が極めて高い。ハクセンシオマネキの群生地でもある。希少二枚貝のマゴコロガイも多く、本種の南限地でもある。ゴカイ科の未記載種が多い。					
426	志布志湾沿岸	鹿児島県	肝属郡東串良町・高山町	河口干潟のある河口域	底生動物	志布志湾沿岸	シオマネキ、ハクセンシオマネキの多産地。日本在来のハマグリ <sup>1</sup> の健在 <sup>2</sup> 産地でもある。
427	鰻池	鹿児島県	指宿郡山川町	湖沼	昆虫類	鰻池	固有種のベニトンボ。古くから生息が知られており、南西諸島に分布を拡げている種とはDNAが違うのではないかと予測される。
					淡水貝類	鰻池	エゾチビマメシジミの模式産地。
428	万之瀬川河口・吹上浜海岸	鹿児島県	加世田市、日置郡金峰町・日吉町	河口干潟のある河口域、砂浜	シギ・チドリ類	万之瀬川河口（吹上浜海岸）	春秋の渡りおよび越冬期の種数・個体数が比較的多く、ミヤコドリでは最小推定個体数の0.25%以上が記録されている。RDB種のセイタカシギ、ヘラシギ、カラフトアオアシシギ、ホウロクシギが記録されている。
					その他鳥類	万之瀬川河口	クロツラヘラサギの渡来地。
					ウミガメ	吹上浜・日吉町海岸・加世田市海岸	アカウミガメの重要な繁殖地。2000年にそれぞれ、24回（吹上町）、68回（金峰町）、26回（日吉町海岸）の産卵が確認された。
					底生動物	万之瀬川河口、吹上浜	絶滅寸前のフタハピンノの健在産地。河口外側の干潟には、ナミノコガイが多産する。
429	大浦川河口	鹿児島県	川辺郡大浦町	マングローブ林	マングローブ林	大浦川河口	メヒルギの生育地。マングローブ樹種の希少分布地。マングローブ林の地理的希少分布地。